

対象教科・科目	単位数	対象学科・学年・クラス	備考
工業	2 単位	情報科学科 1 年 2 クラス	必履修科目

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	パーソナルコンピュータの基本的な操作と情報スキルを習得させ、情報活用の基礎となる能力の育成を図る。
使用教科書・副教材等	P 検協会公式テキスト 新「情報」活用テキスト (P 検協会 (ICT プロフィシエンシー検定協会)) 新「情報」学習ノート (P 検協会 (ICT プロフィシエンシー検定協会)) および自主製作教材

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	タイピング練習 (副教材より) 第1章 コンピュータと情報のデジタル化 1. コンピュータの仕組み 2. データの管理 3. 情報のデジタル化 4. 問題解決におけるコンピュータの活用 5. コンピュータに関する一般的な技術用語 6. デジタル情報の保存 第2章 情報通信ネットワーク 第3章 社会の情報化 1. 情報モラルと社会規範 2. 情報セキュリティ 3. 情報セキュリティの向上策 第4章 ワープロソフトの活用(基本編) 図書館のお知らせを作成する 練習課題 第6章 表計算ソフトの活用(基本編) 成績表を作成する 練習課題 P検3級 模擬試験	タイピング基本練習。 日本語入力練習 PC検定3級合格レベルを目標とする。 コンピュータが動作する仕組みを理解させる。 作成したデータやファイルの管理方法について学習する。 アナログとデジタルの違い、デジタルにおけるデータ表現について理解させる。 問題の解決にあたって、コンピュータを利用する効果について学ばせる。 ネットワークの種類と特徴を学習する。 インターネットの仕組みを理解させる。 情報通信ネットワーク利用の可能性について考えさせる。 情報を扱うときのルールやマナーの必要性を学習する。 知的財産や著作物の保護の必要を理解させる。 人権や個人情報を保護するためのルールを知る。 インターネットを利用するときの注意事項や問題点を考えさせる。 情報セキュリティの重要性を知る。 文字の入力、書式設定 表の挿入・編集 テキストボックス、クリップアートの挿入 ファイルの保存、文書印刷 数値・文字データの入力、書式設定 数式入力、表の編集 グラフの作成、編集 シートの編集、ヘッダーの挿入 ファイルの保存、シート印刷
2 学期	タイピング練習 (副教材より) 第4章 ワープロソフトの活用(応用編) 報告書を作成する 練習課題 第6章 表計算ソフトの活用(応用編) ランキング表の作成 練習課題 P検3級 模擬試験 (学科内連携) 情報技術検定2級演習	日本語入力練習 PC検定3級合格レベルを目標とする。 フッターの設定 組み文字の設定 文字列の折り返し設定 図の挿入 関数の利用 データの並び替え 条件付き書式 ページ設定・フッターの挿入 検定出題範囲の演習 検定出題範囲の模擬試験
3 学期	情報技術検定2級演習 ウェブページの作成 HTML タグ スタイルシート JavaScript の基礎	マークアップ言語を使った文書構造を理解させる。 ウェブページのレイアウトを決める方法を学習する。 動きのある・計算ができるウェブページの作成方法を学習する。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	日常生活における情報インフラや情報機器に関心を持ち、技術的な見方ができるようになっているか。 講義・実技に集中し、一定のレベルまでマスターしようとする姿勢が見られるか。	練習問題への取り組み、習熟度 学習ノートの作成状況
思考・判断・表現	コンピュータを中心としたさまざまなデジタル機器や情報インフラについて、その原理や活用場面を適切に説明できるか。 実技を通して、ワープロや表計算ソフトなどのツールを使って、問題を整理し、解決方法を判断できるか。	定期考査の技術的思考能力に関する習熟度 学習ノートの作成状況 論理的思考への理解度
技能	タイピング能力が、専門科目で要求される水準を達成しているか。 ソフトウェアの利用方法が、技術的な観点から一定の水準に達しているか。 課題や実技において、今行っている作業を適切に表現する能力が身についているか。	タイピング能力 実技問題への取り組み、理解度 発表への姿勢
知識・理解	講義を通して、社会で活用されている情報インフラや情報機器について、一定の知識が習得できたか。 実技を通して、情報機器や情報インフラを適切に活用できることが理解できたか。	定期考査の知識・技能に関する理解度 学習ノートの作成状況